

種
比
腋
右
鼓

13
13/8
24



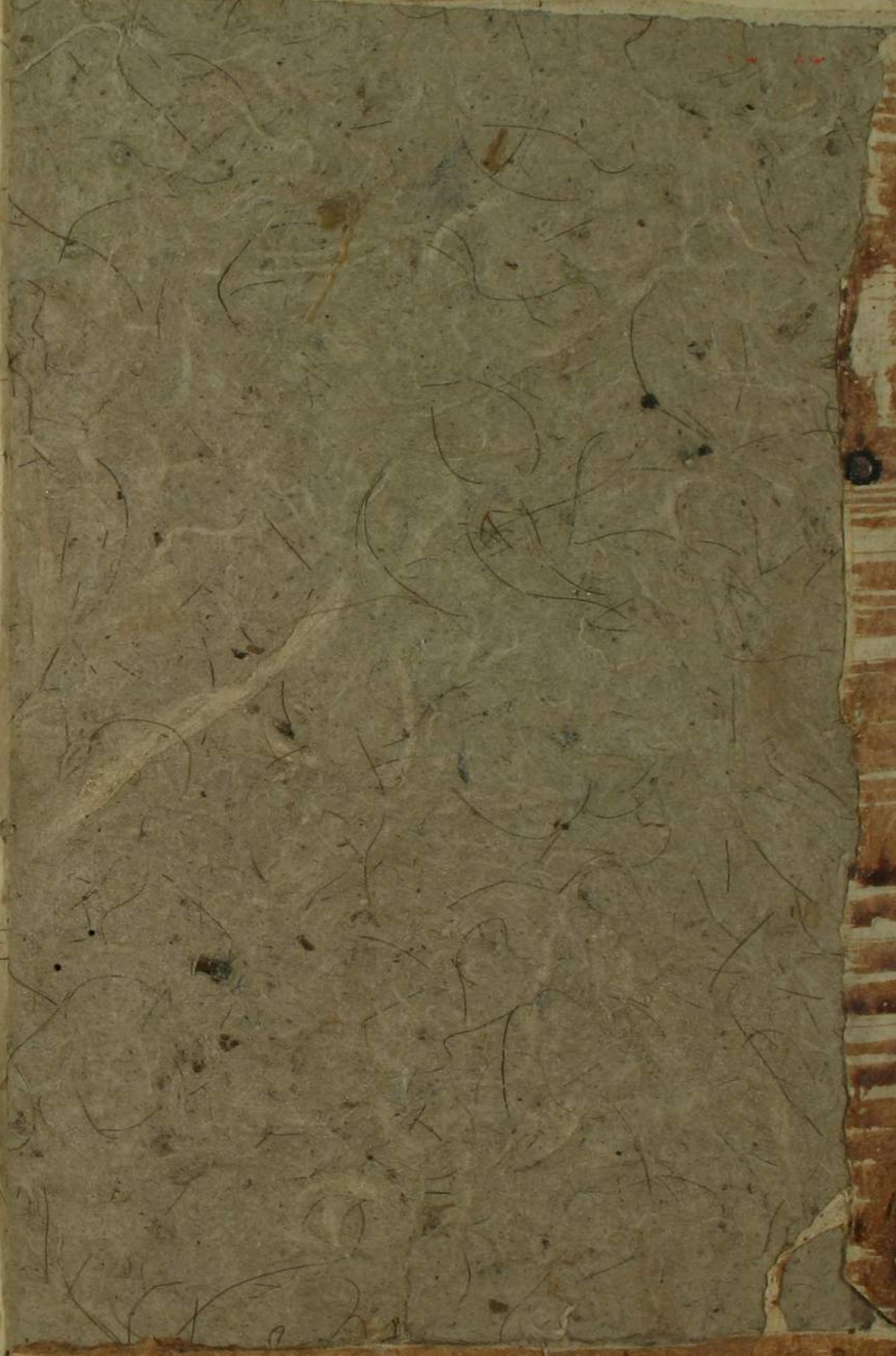
31
天保
...

...

...

序

一、
...



巻 13
号 1315
本 1-4



序

じゅうじゅう 細父と細母の

しんが ぬい 茶釜

ト 踊り 口 味 孫 調子

糸 履 の 皮 ね ね ね ね

ひとつをぬかど可た笑うめら家
 しもぐもと軽う口ち指さらた鞆い
 びたいーたいつなりらたまのり
 申の本
 新と
 新と 鞆

軽口服を鞆巻之一目録

礼がへー
 鞆ひ買い
 考の互
 解あ謎あ
 欲さんごの
 白の娘

竹時杖
 石摺女
 一歩遠心
 夜明け編
 強請
 室川

輕口服を鞍巻之一

礼之

いちやわく 天下の大福をえ給れ也 果さるや可也
 一夜めれば 天下の大福をえ給れ也 果さるや可也
 山の嶺をさすの 誠君が 代り 幾世なるわらん 古くも
 を 礼ふゆに 去る所の 門に ありしや かりけ
 らぬが 内より も あつと ありし 志すつと ありし なが
 ら あつと ありし と ば きて 又 内より も あつと ありし と
 りしと ありし と なるが しかる ありし 御だま 眼
 て ありし だま ありし 御だま 御だま 御だま

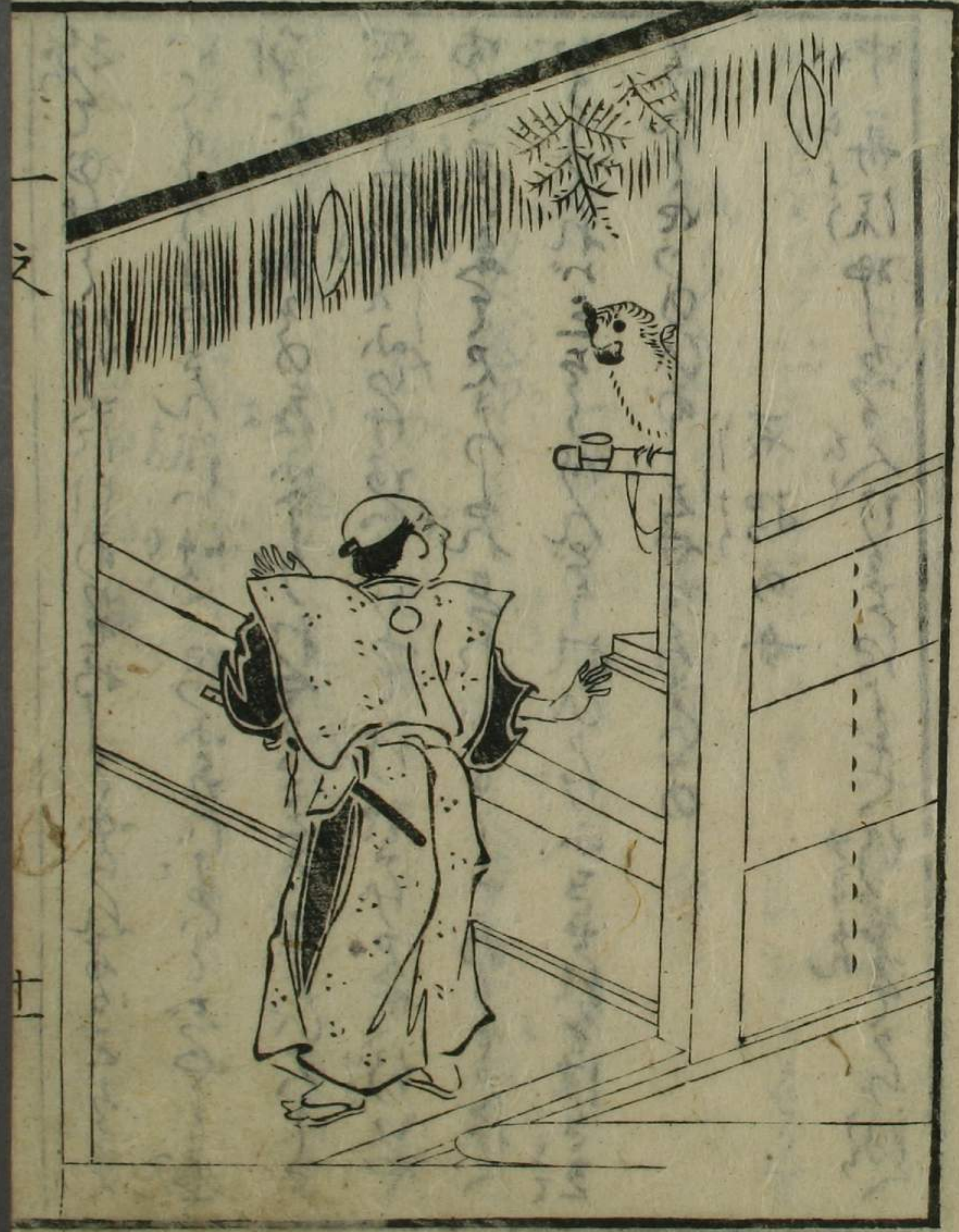
鞍 買

何の目が有るや、鞍や、買人れ、事り、たれ、て、い、も
 ち、つ、ま、し、た、茶、よ、た、な、こ、り、の、ら、の、お、か、の、ぞ、も、な、す、た、お、
 角、り、ら、ろ、角、も、化、角、作、も、な、く、片、も、一、お、く、あ、ら、た、い、
 大、倉、と、幸、流、な、ど、の、ち、が、い、も、ご、ご、り、ゆ、と、が、い、ま、さ、い、い、
 の、ゆ、は、義、い、も、つ、の、ま、れ、が、買、人、の、い、ま、い、て、そ、の、や、う、に、
 ま、り、さ、う、ふ、お、や、あ、ん、な、よ、た、ら、い、大、お、の、か、な、ら、い、
 ま、れ、
 大、お、く、や、の、内、義、氏、申、座、の、な、ら、を、清、い、は、れ、ら、り、て、ま、れ、

野の、お、び、お、お、ら、れ、が、お、や、お、ん、げ、お、れ、さ、う、り、ほ、て、足、る、
 ち、う、た、れ、が、お、お、や、の、か、ら、お、の、ま、つ、こ、れ、足、る、た、れ、お、い、
 志、や、の、紙、や、の、田、代、と、さ、う、た、れ、お、な、る、お、り、お、の、や、
 お、ま、ま、し、て、ご、ん、と、と、お、い、の、足、立、信、の、お、お、ま、ま、お、く、と、
 お、お、ん、と、り、づ、さ、れ、飯、ら、ら、あ、げ、さ、う、な、と、り、さ、い、

解 ぬ 健

健、の、お、い、ま、ま、ん、さ、ら、い、お、その、お、ま、ま、が、お、い、け、う、あ、ん、を、
 志、や、よ、一、か、の、い、を、猫、が、お、い、お、る、お、お、解、人、志、あ、ん、を、
 中、お、お、い、流、そ、ら、い、お、お、お、い、さ、ら、い、お、お、お、の、お、お、お、



りやのうらこのねまぬこあへんかきんてい
 申さまうのねをえんかのよねをりやねん
 是れぞあうい男あつふー迎ゆり仲人をえん
 福さうかれはねさうだんをきく何のねはけはら
 異國をーくね

灯時中

何屋よはける業のまうも業行やのこさう
 店ふ業さうらとてみかから思ねをはなさるる
 申しとふまうの目りまをね方し回なけ業と

世々入道ちかひのよ夜よがわけごとくまらうにむせばむじん人々
まらうをたて市よとありわけませねと夜ねころあうらせりりよ
親おやしれりあまが夜よめいかにあぢえりあぢえりあぢえり
世々入道ちかひのよ夜よがわけごとくまらうにむせばむじん人々
まらうをたて市よとありわけませねと夜ねころあうらせりりよ
親おやしれりあまが夜よめいかにあぢえりあぢえりあぢえり

信 傳

何れも一信傳とて朋友とあうらせりりよ

何れも一信傳とて朋友とあうらせりりよ
初はつめ入道ちかひのよ夜よがわけごとくまらうにむせばむじん人々
まらうをたて市よとありわけませねと夜ねころあうらせりりよ
親おやしれりあまが夜よめいかにあぢえりあぢえりあぢえり

信 傳

何れも一信傳とて朋友とあうらせりりよ
初はつめ入道ちかひのよ夜よがわけごとくまらうにむせばむじん人々
まらうをたて市よとありわけませねと夜ねころあうらせりりよ
親おやしれりあまが夜よめいかにあぢえりあぢえりあぢえり

あまを撫さくまらひのあまをまづく時女
見せしそんくたひくう一はふきりあはら
にんれはけねやちたまそそまのてまふ不思
つげるとたひくの法とまふらちぬごし
あちごゆくはまらたれを女中らとまふ
あけらひしあまあやうねらあまて
あはまはまも異丸ぐごん

静に後を報一と巻終



